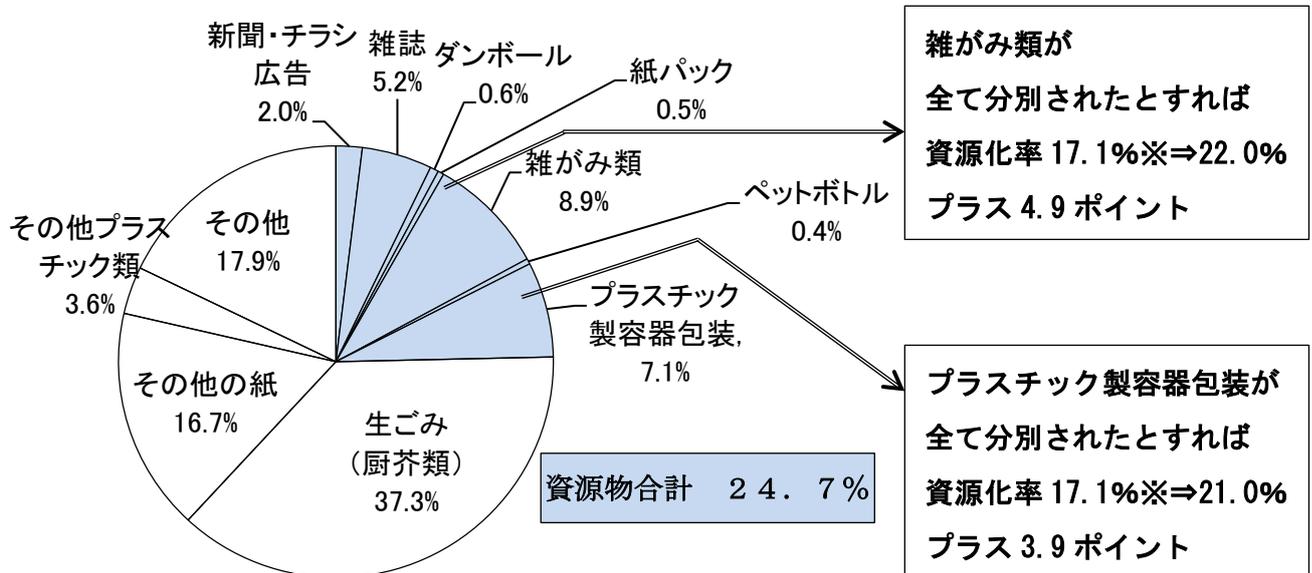


分別の徹底に向けた広報・啓発の強化について

【現状と課題】

- ・平成 14 年 10 月から家庭ごみの 12 分別収集を導入し、令和元年 7 月には剪定枝の資源化を開始するなど、資源物の排出の受け皿を拡大することにより、資源化に取り組んできたが、燃やすごみの中には分別すれば資源化できる可能性のある紙類やプラスチック製容器包装類が約 3 割含まれている状況にある。
- ・今後、改めて資源物とごみの分別排出を徹底し、資源化の促進を図っていくことが必要となる。



<燃やすごみの組成調査結果 (平成30年度実績)>

<燃やすごみに含まれているプラスチック製容器包装類・紙類の割合推移>

| 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 割合 | 33.2% | 27.1% | 32.8% | 27.9% | 24.7% |

【施策の方向性】

①「分かりやすい広報」と「顔の見える啓発」の充実

分別排出の主体である市民の視点に立って、紙媒体をはじめとする様々な媒体を利用しながら、分別の基本ルールの周知と分別排出に役立つ分かりやすい広報を充実していく。なお、分かりやすい広報を行っていくうえで直接地域住民と市職員がコミュニケーションを図る機会も必要であることから、廃棄物減量等推進員（じゅんかんパートナー）と連携し、市内イベント、サロン等に出向き地域における顔の見える啓発活動を強化していく。

②ICT を活用した広報啓発

自治体によって分別の基本ルールが異なる煩雑なごみ分別について、ICT を活用することにより、ルールを知らない転入者等がいつでも簡単に情報を得られるようにする。また、情報発信の際は、日本語に不慣れな外国人にも理解してもらえるようユニバーサルデザインを取り入れる等、工夫していく。

③環境学習を通じた周知啓発

保育園・幼稚園・小学校を対象とした出前授業を通じ、幼少期のうちから3Rの意識を育てていくとともに、学習を受けた子供から、各家庭への3R意識の向上につなげていく。また、市内および近隣のリサイクル関連施設やごみ処理施設の見学会の開催等でも3R意識の向上を目指していく。

■広報（紙）媒体



■ごみ分別アプリ



ここがおススメ！

ごみ出しの日を知りたい。
→カレンダー形式で確認できます。

ごみを出し忘れないようにしたい。
→設定した時間に収集日をお知らせします。

ほかにも便利な機能があります。

- ・これって、どのごみに分類すればいいの？
→ごみの名称を入力すると出し方がわかります。
- ・市からのお知らせを知りたい。
→最新のお知らせをお届けします。
- ・ごみに関係する施設はどこ？
→MAP 機能で確認できます。



インストール方法

Google Play または App Store で検索

市川市 ごみ

または

QRコードを読み取る

Android iPhone

【問い合わせ先】生活環境整備課 TEL 047-712-6317 FAX 047-712-6308

■環境学習（リサイクルツアー、副読本）



たん てい だん い

ごみ探偵団が行く!

平成30年度版

みんなで考えよう
ごみとわたしたち

ごみとわたしたちは
関係あるのですか?

ぜひ、この本を
よんで、いっしょに
考えてください。

きょう1日で
わが家で
こんなごみが出ました。

監修：寄本勝美 元早稲田大学政治経済学術院教授

| | |
|-----|-----|
| | 学校 |
| 年 組 | なまえ |

「わたしたちの市川」の55～60ページの「ごみのしよりと利用」といっしょに読んでね。

市 川 市

1230
この用紙は再生紙を利用しています